

編輯後記

昭和卅二年度は季刊の慣例を破つて、四号をまとめて合輯することになりました。大分市に宗麟銅像再建の議のあるのを聞き、これに協力することにしましたからです。会員の中には遅刊を心配されて、わざわざ問い合わせ下さった方もありましたが、右のような事情であつたことを御諒承願います。

本輯のため、大分市長上田保氏から特に序文を寄せられ、かつまた多額の金員の援助を与えられました。特記して深く感謝申し上げます。

また東京岡本良知氏から、世界にただ一本しか知られていないというレツヂオ版一五八五年の「天正遣欧使節記」の本文及び詳細な解題を頂いたことは、本会の光栄であり、同氏に深く感謝します。解題にもある通り、本書は国の重要文化財に指定されたもので、大友宗麟号を飾るにふさわしい最上級の贈物であり、読者の熟読をお願いします。

その他、清原・久多羅木・増村・小田・立川・中野諸氏からも、有益な論考・資料・年譜を寄せられ、本輯を多様なものとし得たことを感謝します。七月の宗麟銅像除幕式も近づき、本会は記念講演会を開催する予定です。三十三年度の本会定例の大会も切迫しています。会員諸氏の多数御参加あらんことを切望します。(渡辺)

昭和三十三年五月二十五日 印刷
昭和三十三年五月二十八日 発行

会費 年三〇〇円 分売は本号に限り 三〇〇円

編輯兼 代表者 渡 辺 澄 夫
発行人

印刷人 高 井 久 雄

印刷所 大分市上野 電話三七七五番
三恵印刷株式会社

発行所 大分市駄原 大分大学
学芸学部国史研究所内
大分県地方史研究会
(振替下関五二九四番)